



# 吉子川

令和6年6月21日(金)  
 学校だより NO. 16  
 中島村立吉子川小学校  
 発行責任者 校長 木戸 美智子

## 【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

今月のいきいき中島っ子 学びの十か条 (6月)

いつも気をつけている言葉づかい  
 自分も大事、相手も大事

## ◇ 命を守る学習 ◇

6月20日(木)に命を守る学習、「避難訓練(防犯教室)」を行いました。防犯教室では、主に登下校中に犯罪に巻き込まれないようにするための行動の仕方や犯罪に巻き込まれそうになった時の対応方法について学びました。DVDを視聴したり、白河警察署生活安全課の草野様と中島駐在所の滝口様からお話をいただいたりしました。

子ども達は、今回の防犯教室を通して、人通りが少ない道避けることや危険を感じた時には防犯ブザーを使ったり大声で叫んだりすること、そして何より逃げることを学びました。その後、代表児童が学んだことをシミュレーション体験しました。

あってはならないことですが、万が一の時には危機回避の行動がとれるよう、「子どもひなんの家」の活用など、ご家庭でも話し合っただけであればと思います。

この日の子ども達の真剣度は、100点満点でした。自分の命を自分で守ろうとする強い気持ちの表れでした。



## ◇ 5年生も必読書 読破！ ◇

今月12日に2年生児童4名が必読書を読み終え、読書賞を授与されたとお知らせしましたが、19日には、5年生の加藤萌陽さんも読み終え、読書賞が授与されました。5年生の必読書は、1冊200ページもあるなかなか読み応えのある本ですが、萌陽さんは、家に持ち帰り読んでいたようです。

萌陽さんにも、インタビューしてみました。すると、読んだ本の中で印象に残った本は、「茶畑のジャヤ」だそうです。萌陽さんは、主人公である頭の良い男の子「周(しゅう)」の気持ち、考えに共感したそうです。萌陽さんは、「読むこと」が好きだと言います。家に帰ってからの時間や休日などに、趣味として読書を楽しんでいるのではないかと思います。語彙力や文章力が養われる読書、教養や知識が身に付く読書、想像力が育まれる読書が、私も大好きなので、萌陽さんの気持ちがよく分かりました。



成績優秀なのが災いしてクラスで孤立していた日本の少年、周。彼は祖父といっしょにスリランカに行くことに。そこで、茶畑で茶摘みの手伝いをする少女、ジャヤとの出会いにより、スリランカの民族間の問題や歴史を知り、差別されながらも誇りと希望を持つジャヤに勇気付けられます。そして周は、強い気持ちを持って日本に帰ってくるのです。「たくさん想像できる人は、人を殺さない。悲しみが想像できるから」そんな言葉が心に刺さりました。

